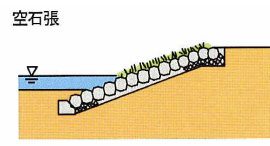
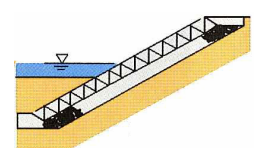
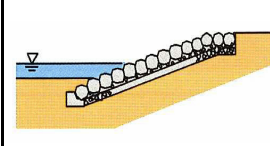
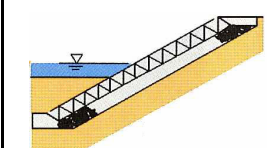
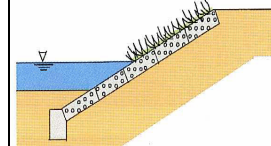
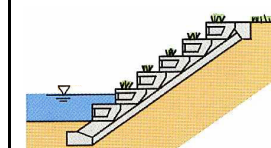
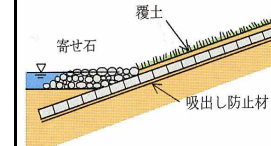
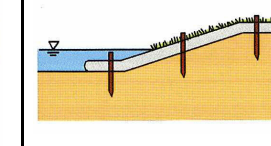
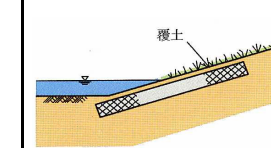
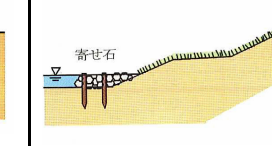
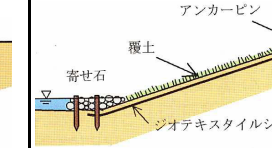
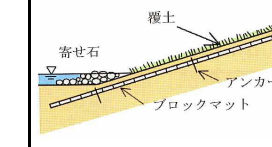
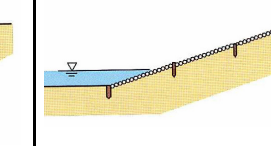
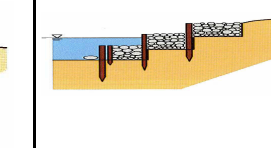


一般的な護岸工(勾配1:1.5以上の護岸に適用できる護岸工)

分類	張り護岸			接続型ブロック・かご型		その他護岸	
工種	空張工	練張工	コンクリート張工	接続型ブロック張工	かご工	植生・シート工	杭・粗朶工
概略図	<p>空石張</p>  <p>空ブロック張</p> 	<p>練石張</p>  <p>練ブロック張</p> 	<p>ポーラスコンクリート</p>  <p>環境保全型ブロック</p> 	<p>接続型ブロック張</p> 	<p>植生蛇籠</p>  <p>かご平張</p> 	<p>張芝</p>  <p>ジオテキスタイル</p>  <p>ブロックマット</p> 	<p>粗朶法枠</p>  <p>杭柵</p> 
勾配の目安	1:1.5~	1:1.5~	1:1.5~	1:1.5~	1:1.5~	1:2.0~	1:1.5~
適用流速の目安	空石張り 設計流速5m/s程度以下 空ブロック張り — 連結自然石 設計流速5.5m程度以下	特になし	特になし	大型接続ブロック — 接続ブロック 設計流速5m/s程度以下	蛇籠及び布団籠 (基本的には仮設護岸) かごマット 設計流速5m/s程度以下	張芝 設計流速2m/s程度以下 侵食防止シート 設計流速3m/s程度以下 ブロックマット 設計流速4m/s程度以下	設計流速4m/s程度以下
概要	・石材及びブロックを空張りした法覆工。連結自然石は、自然石を金網等で連結したもの。	・石材及びブロックをコンクリートで固定した法覆工。	・コンクリートよりなる法覆工。近年、緑化を考慮して、材料にポーラスコンクリートも用いられている。	・ブロックを連結線で連結した法覆工。屈撓性が大きい。	・鉄線で作られた籠と中詰石よりなる法覆工。	・芝の耐侵食性を応用した法覆工。植生の根をシートあるいはマットにより保護する。	・粗朶あるいは木杭等の枠と中詰石よりなる護岸。 ・多自然型護岸として用いられている。
環境に対する特性	のり面の植生	△	△	○	○	○	△
	水際の植生	△	△	○	○	○	△
	水生生物の生息空間	○	△	△	○	○	○
	横断方向の連続性	○	○	○	○	○	△
	景観への配慮	○	○	○	○	○	○

凡例：○ - 適している、△ - やや適している

「美しい山河を守る災害復旧基本方針(社団法人 全国防災協会)」を参考に修正加筆
※1メーカー資料による